

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2018年第24週
(6月11日～6月17日)

- * 2018年6月20日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「夏の食中毒 -細菌性食中毒の変遷-」も掲載しています。

平成30(2018)年6月21日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2018年24週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	68	93	61	55	1,536	315	9,563
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1) 鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ							2
	細菌性赤痢	1	1	2		20		87
	腸管出血性大腸菌感染症	8	8	14	12	86	120	792
	腸チフス					5		18
	パラチフス		1			6		10
四類	E型肝炎	1	2	2	5	41	7	182
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	18	10	16	14	212	27	416
	エキノコックス症							5
	黄熱							
	オウム病							3
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症						1	1
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}						4	35
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							1
	炭疽							
	チクングニア熱							1
つつが虫病					4	5	84	
デング熱					18	3	59	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						6	67
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症						1	2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		2
	マラリア	1			2	5	3	21
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽					1		1
レジオネラ症	3	1		2	37	63	644	
レプトスピラ症		1			1		1	
ロッキー山紅斑熱								

2018/6/20集計

(全数把握対象疾患のコメント・一類～五類)

〈二類感染症〉

結核 55件 患者および死亡後診断 33件(肺結核 24件、その他の結核 8件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 21件、疑似症 1件、年齢は5歳未満 1件、10代 2件、20代 7件、30代 7件、40代 3件、50代 3件、60代 5件、70代 8件、80代 14件、90歳以上 5件、推定感染地は国内 45件、ネパール 2件、中国 1件、不明 7件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 12件 患者 8件、無症状病原体保有者 4件、血清型・毒素型はO63 VT1 1件、O111 VT1・VT2 1件、O157 VT1・VT2 8件、O157 VT1 1件、血清型不明VT1 1件、年齢は10歳未満 1件、10代 3件、20代 1件、40代 1件、50代 2件、60代 1件、70代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 11件、国内又は韓国 1件、推定感染経路は経口感染 10件、不明 2件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 5件 患者 5件、年齢は40代 1件、50代 1件、60代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は経口感染 4件、不明 1件であった。

A型肝炎 14件 患者 14件、年齢は20代 2件、30代 5件、40代 5件、50代 2件、推定感染地は国内 13件、不明 1件、推定感染経路は同性間性的接触 12件、経口感染 1件、不明 1件、A型肝炎ワクチン接種歴は1回接種済み 1件、無し 10件、不明 3件であった。

マラリア 2件 病型は熱帯熱 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地はコートジボアール 1件、ベナン 1件であった。

レジオネラ症 2件 病型はポンティアック熱型 1件、肺炎型 1件、年齢は70代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は水系感染 1件、不明 1件であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 7件 病型は腸管 7件、年齢は20代 1件、30代 1件、40代 2件、50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 4件、トルコ又はイスラエル 1件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 3件(同性間 1件、異性間 2件)、経口感染 1件、不明 3件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴は無しであった。

カルパペナム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 病原菌はエンテロバクター・クロアカ、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は医療器具関連感染、90日以内の海外渡航歴は無しであった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2018年24週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	1	2	1	7	72	9	371
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	3	1	2	1	20		91
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6	6	8	1	83	17	745
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く） ^{*1}	1				2	1	9
	急性脳炎 ^{*2}	2			1	35	8	352
	クリプトスポリジウム症		1			2	2	10
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		1		8	2	95
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2		1	51	7	362
	後天性免疫不全症候群	8	8	13	7	180	16	566
	ジアルジア症	1				10	1	35
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		2		1	16	7	230
	侵襲性髄膜炎菌感染症					5		18
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	10	8	6	226	41	1,907
	水痘(入院例に限る)	1	1	3	3	26	10	192
	先天性風しん症候群							
	梅毒	36	31	44	29	762	85	2,903
	播種性クリプトコックス症	1				10	2	82
	破傷風					1	1	42
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	2	2	24
百日咳 ^{*3}	10	13	19	30	221	143	2,311	
風しん	2			1	6	1	35	
麻しん		1		1	13	1	170	
薬剤耐性アシネトバクター感染症				1	3	1	9	
2018/6/20集計								

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*3 2018年1月1日より追加指定された。

急性脳炎 1件 病原体不明、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 血清群はB群、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

後天性免疫不全症候群 7件 AIDS 1件、無症候キャリア 5件、その他 1件、性別は男性 7件、AIDS患者の年齢は30代、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 3件、30代 2件、40代 1件、推定感染地は国内 6件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 6件(同性間 4件、異性間 2件)、不明 1件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 血清型は検査未実施、年齢は80代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明、ヒブワクチン接種歴は不明であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 6件 血清型はすべて検査未実施、年齢は5歳未満 1件、50代 1件、60代 2件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、不明 4件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価4回接種済み 1件、無し 3件、不明 2件であった。

水痘(入院例) 3件 臨床診断例 2件、検査診断例 1件、年齢は30代 1件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1件、水痘ワクチン接種歴は無し 1件、不明 2件であった。

梅毒 29件 患者 24件(早期顕症梅毒Ⅰ期 12件、早期顕症梅毒Ⅱ期 12件)、無症候梅毒 5件、性別は男性 22件、女性 7件、年齢は10代 2件、20代 8件、30代 4件、40代 11件、50代 2件、60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 26件、不明 3件、推定感染経路は性的接触 28件(同性間 3件、異性間 18件、性別不明 7件)、不明 1件であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 遺伝子型は不明、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

百日咳 30件 年齢は10歳未満 15件(うち5歳未満 1件)、10代 8件、20代 4件、30代 1件、40代 2件、推定感染地は国内 23件、不明 7件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 17件、2回接種済み 1件、無し 2件、不明 10件であった。

風しん 1件 検査診断例、年齢は20代、推定感染地はインドネシア、推定感染経路は不明、風しん含有ワクチン接種歴は無しであった。

麻しん 1件 検査診断例、遺伝子型はH1、年齢は30代、推定感染地は国内又は中国又はマレーシア、推定感染経路は不明、麻しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症 1件 患者、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、90日以内の海外渡航歴は無しであった。

※ 第19週該当分として〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件、梅毒 1件の追加報告があった。

※ 第23週該当分として〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件、梅毒 2件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2018年24週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2018年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数			
		21週	22週	23週	24週					
小児科	RSウイルス感染症	46 0.18	46 0.18	51 0.19	62 0.24	262	264			
	咽頭結膜熱	204 0.78	193 0.74	232 0.88	207 0.79					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	833 3.19	929 3.55	949 3.61	876 3.34					
	感染性胃腸炎	2,017 7.73	1,925 7.35	1,988 7.56	1,742 6.65					
	水痘	165 0.63	66 0.25	127 0.48	113 0.43					
	手足口病	42 0.16	65 0.25	90 0.34	90 0.34					
	伝染性紅斑	160 0.61	164 0.63	199 0.76	170 0.65					
	突発性発しん	181 0.69	197 0.75	177 0.67	180 0.69					
	ヘルパンギーナ	26 0.10	32 0.12	60 0.23	118 0.45					
	流行性耳下腺炎	33 0.13	30 0.11	28 0.11	46 0.18					
	川崎病 ^{*1}	6 0.02	2 0.01	6 0.02	5 0.02					
	不明発しん症 ^{*1}	11 0.04	20 0.08	17 0.06	20 0.08					
	インフル エンザ	インフルエンザ ^{*2}	66 0.16	63 0.15	50 0.12			29 0.07	414	419
眼科	急性出血性結膜炎			2 0.05		38	39			
	流行性角結膜炎	23 0.61	23 0.61	19 0.50	25 0.66					
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}	1 0.04	1 0.04		1 0.04	25	25			
	無菌性髄膜炎	2 0.08			2 0.08					
	マイコプラズマ肺炎	1 0.04	3 0.12	2 0.08	1 0.04					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		1 0.04		1 0.04						
感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}	3 0.12	4 0.16		2 0.08						
インフルエンザ入院		1 0.04		2 0.08						

2018/6/20集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

* 百日咳は2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 伝染性紅斑の報告数は例年と比べて高いレベルで推移しています。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎は例年並みの発生状況ですが、一部の地域で報告数の増加が見られます。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2018年24週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	8	1	1	16				3			
6～11か月	20	27	9	125	5	5	1	50	11		1
1歳	23	76	25	227	7	29	4	92	48	2	1
2歳	8	23	66	154	5	15	11	18	16		1
3歳	2	21	99	167	7	18	19	5	22	5	1
4歳	1	19	114	170	13	9	33	3	13	11	
5歳		15	146	149	25	4	36	5	5	8	
6歳		8	96	107	11	5	25		2	4	
7歳		4	79	86	12		19			5	1
8歳		3	60	82	13	2	8	1		5	
9歳		1	45	53	4	1	5	1	1	4	
10～14歳		1	69	185	10	2	6	1		2	
15～19歳		1	2	32							
20～29歳		7	65	189	1		3	1			
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	62	207	876	1,742	113	90	170	180	118	46	5
先週比	11	-25	-73	-246	-14		-29	3	58	18	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科			基幹				
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月										
6～11か月	4									
1歳	4			5					1	
2歳	6	2		1						
3歳	2			1						
4歳	1									
5歳		3		1						
6歳										
7歳	1								1	
8歳	2									
9歳				2			1			
10～14歳		10				1				1
15～19歳		3				1				
20～29歳		5		2						
30～39歳		1		5						
40～49歳		1		5						
50～59歳		4		3						
60～69歳								1		1
70～79歳										
80歳以上					1					
合計	20	29		25	1	2	1	1	2	2
先週比	3	-21	-2	6	1	2	-1	1	2	2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2018年24週

	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病
千代田				2.00				0.33		0.33	
中央区	0.33	0.33	9.67	13.67	0.67	3.00	0.33	0.67		1.33	
みなと	1.50	0.17	3.17	3.83			0.67	0.17	0.17		
新宿区	0.50	0.88	3.50	6.25	0.13	0.38	0.13	0.25	0.13		
文京		0.75	2.50	3.25		0.75		0.50		0.25	
台東		0.75	4.25	6.50	0.50	2.75	0.75	1.75	0.50	0.25	
墨田区	0.40	0.80	1.20	5.20		1.80	1.20	0.60	0.20		
江東区	0.56	1.44	2.33	12.56	0.22	0.78	0.78	0.89	0.33	0.44	0.11
品川区	0.38	1.00	1.25	6.38	0.25	0.13	0.50	0.63			
目黒区			3.40	7.40	0.20	1.00	1.00	0.60	2.80		
大田区	0.38	1.31	3.31	9.23	0.46		0.46	0.31	0.23		
世田谷	0.38	0.75	3.81	5.50	0.56	0.44	0.94	0.50	1.19	0.19	
渋谷区			1.25	4.00		0.25	0.75				
中野区		0.67	4.83	4.67	0.17		0.17	1.50		0.33	
杉並		1.55	0.82	6.09	0.18		0.18	0.73		0.09	0.09
池袋		0.50	1.25	4.75	2.25						
北区		0.67	2.50	4.50	0.33		2.00	0.67			
荒川区	0.50	1.00	4.00	9.50	0.25	0.75		1.25	1.50	0.50	
板橋区		0.60	0.80	2.40	0.40	0.10	0.20	1.10		0.10	
練馬区		0.38	4.85	5.62	0.15	0.08	2.08	0.92	0.31	0.23	
足立	0.54	1.15	2.31	4.15	1.00	0.38	0.46	0.62	0.38	0.08	
葛飾区		0.50	3.38	7.38	0.63	0.50		0.88	0.50		
江戸川	0.33	0.25	2.92	6.75	0.08	0.17	0.08	0.75	2.17	0.17	0.08
八王子市	0.45	0.73	3.73	12.27	1.09	0.09	0.73	0.45	0.55	0.27	
町田市		0.38	6.25	13.00	0.88		0.50	0.38		0.25	
西多摩	0.13	1.00	2.50	4.50		0.25	0.13		0.50	0.25	
南多摩		0.56	3.00	5.67	0.44	0.22	1.00	0.78	0.33	0.44	0.11
多摩立川	0.07	0.36	3.21	4.93	0.36	0.14	0.64	0.43	0.29	0.07	0.07
多摩府中	0.05	1.19	4.10	6.95	0.33	0.29	0.81	1.24	0.24	0.33	
多摩小平	0.40	1.33	6.93	8.07	0.87	0.33	1.07	0.93	0.47	0.07	
島しょ											
東京都	0.24	0.79	3.34	6.65	0.43	0.34	0.65	0.69	0.45	0.18	0.02

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田										
中央区	0.33			2.00						
みなと										
新宿区							0.50	0.50		
文京										
台東		0.20								
墨田区	0.40				1.00					
江東区	0.33			1.00						
品川区	0.13	0.08								
目黒区	0.20									
大田区	0.15									
世田谷	0.06	0.24		1.00		0.50				
渋谷区	0.50			2.00						
中野区		0.10								
杉並				3.00						
池袋				2.00						
北区										
荒川区		0.14		1.00						
板橋区										
練馬区		0.24		0.50						
足立		0.05		0.50						
葛飾区	0.25			1.00					1.00	1.00
江戸川	0.17			0.50						
八王子市	0.09	0.06		2.00						
町田市										
西多摩										
南多摩										
多摩立川										
多摩府中	0.10	0.18		1.33		0.33				0.33
多摩小平		0.26							0.50	
島しょ										

東京都	0.08	0.07		0.66	0.04	0.08	0.04	0.04	0.08	0.08
-----	------	------	--	------	------	------	------	------	------	------

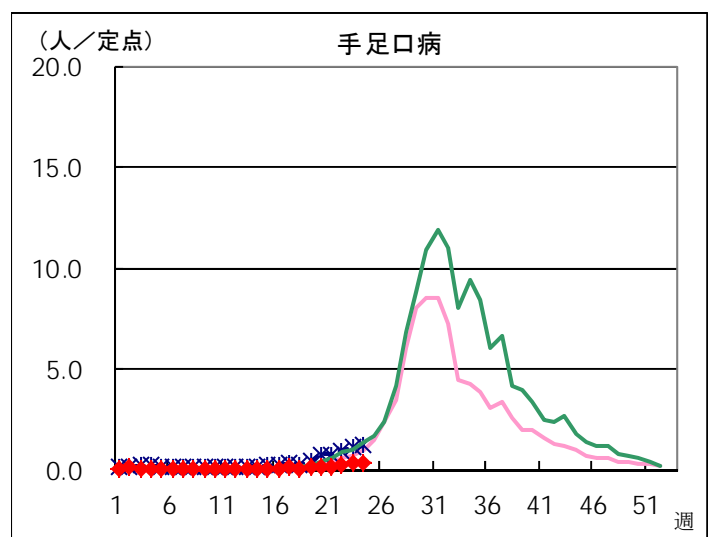
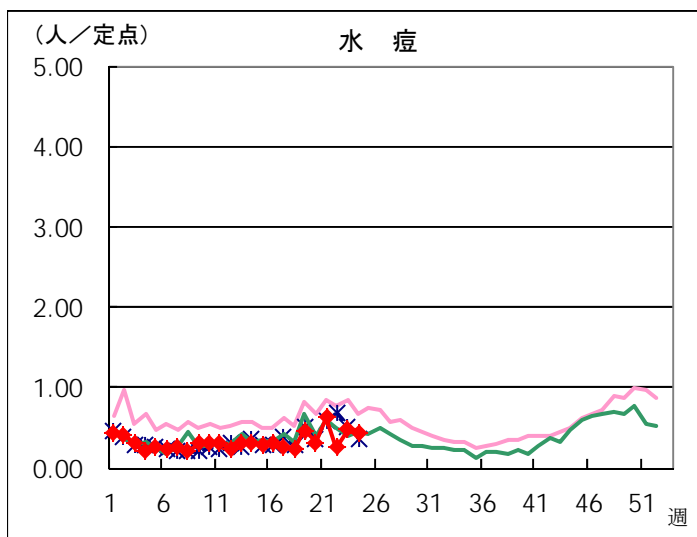
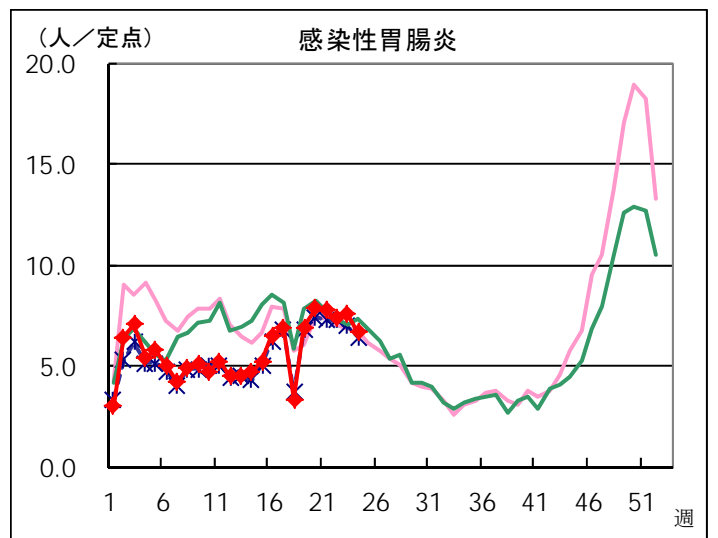
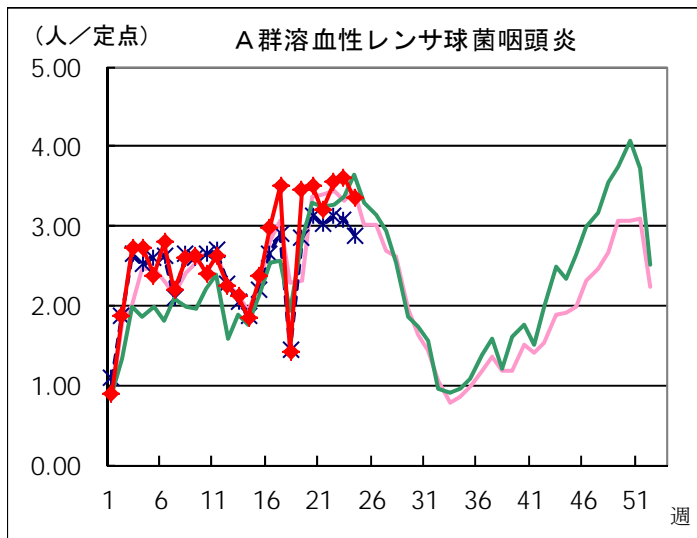
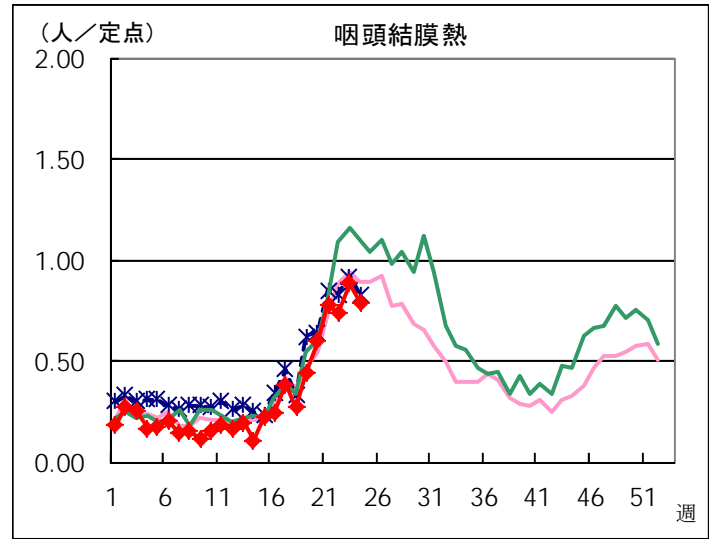
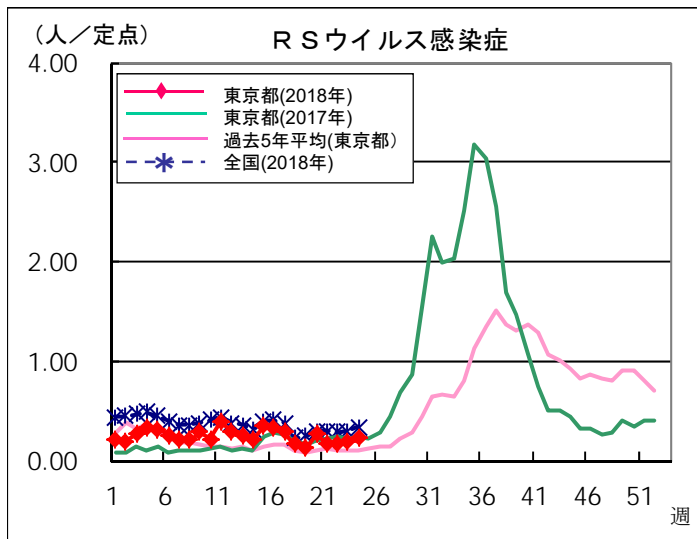
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2018年24週

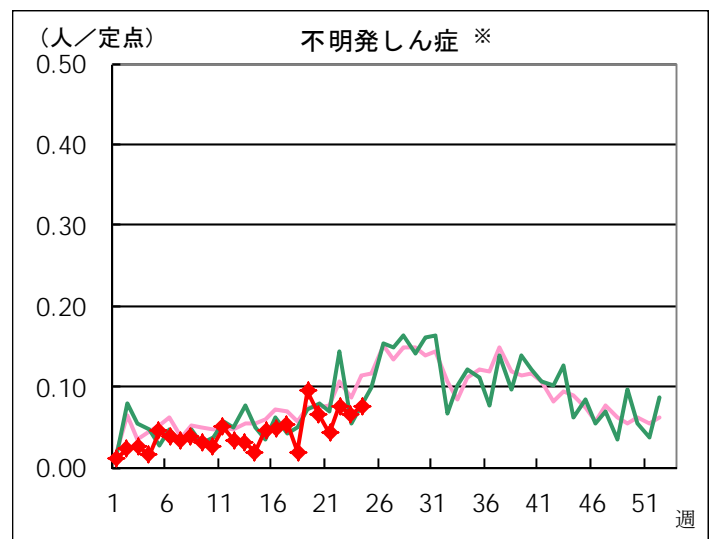
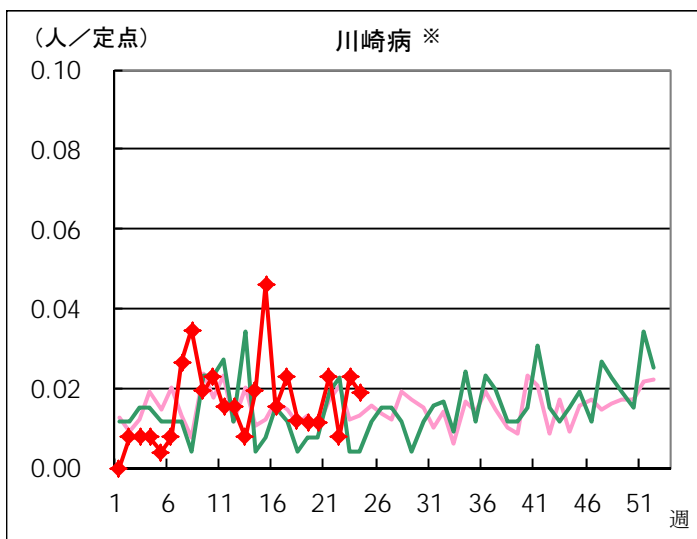
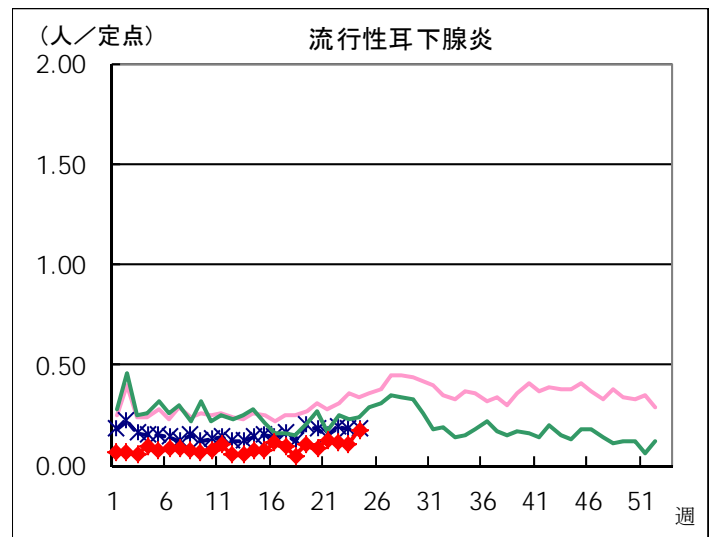
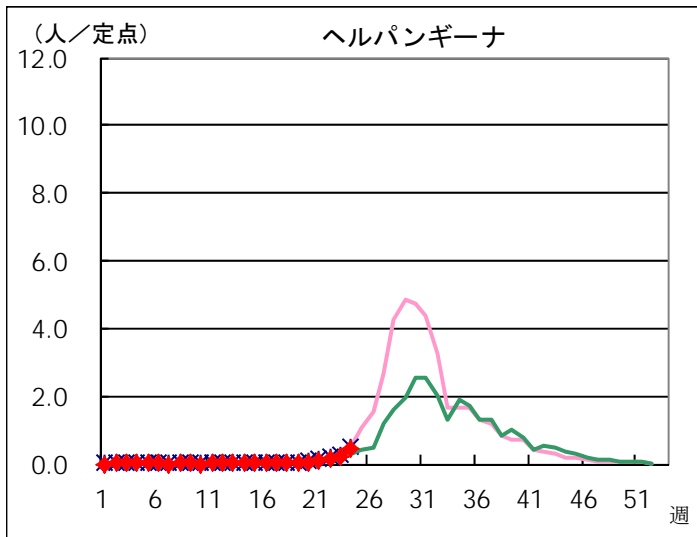
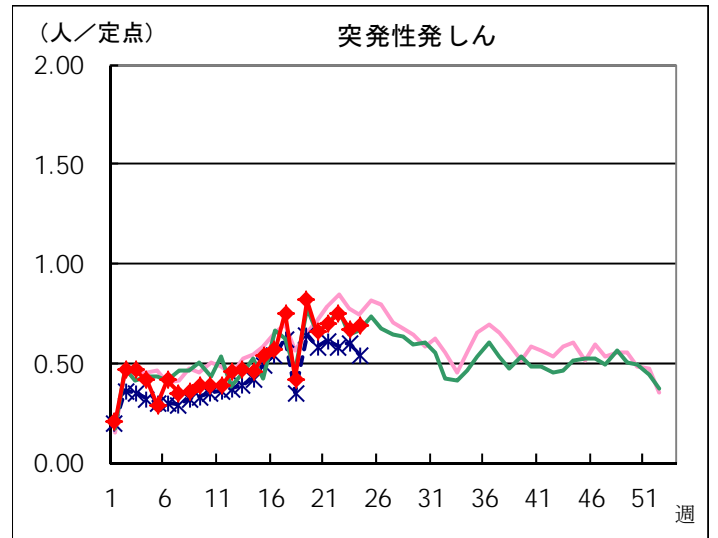
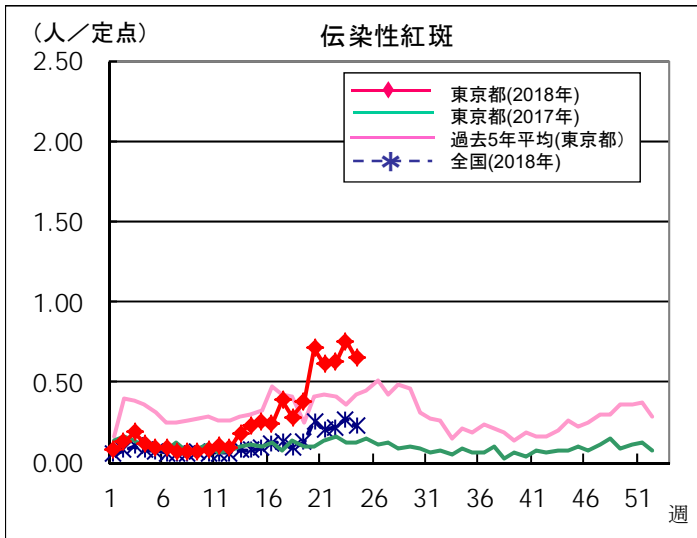
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				6				1		1	
中央区	1	1	29	41	2	9	1	2		4	
みなと	9	1	19	23			4	1	1		
新宿区	4	7	28	50	1	3	1	2	1		
文京		3	10	13		3		2		1	
台東		3	17	26	2	11	3	7	2	1	
墨田区	2	4	6	26		9	6	3	1		
江東区	5	13	21	113	2	7	7	8	3	4	1
品川区	3	8	10	51	2	1	4	5			
目黒区			17	37	1	5	5	3	14		
大田区	5	17	43	120	6		6	4	3		
世田谷	6	12	61	88	9	7	15	8	19	3	
渋谷区			5	16		1	3				
中野区		4	29	28	1		1	9		2	
杉並		17	9	67	2		2	8		1	1
池袋		2	5	19	9						
北区		4	15	27	2		12	4			
荒川区	2	4	16	38	1	3		5	6	2	
板橋区		6	8	24	4	1	2	11		1	
練馬区		5	63	73	2	1	27	12	4	3	
足立	7	15	30	54	13	5	6	8	5	1	
葛飾区		4	27	59	5	4		7	4		
江戸川	4	3	35	81	1	2	1	9	26	2	1
八王子市	5	8	41	135	12	1	8	5	6	3	
町田市		3	50	104	7		4	3		2	
西多摩	1	8	20	36		2	1		4	2	
南多摩		5	27	51	4	2	9	7	3	4	1
多摩立川	1	5	45	69	5	2	9	6	4	1	1
多摩府中	1	25	86	146	7	6	17	26	5	7	
多摩小平	6	20	104	121	13	5	16	14	7	1	
島しょ											
東京都合計	62	207	876	1,742	113	90	170	180	118	46	5

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田										
中央区	1			2						
みなと										
新宿区							1	1		
文京										
台東		1								
墨田区	2				1					
江東区	3			1						
品川区	1	1								
目黒区	1									
大田区	2									
世田谷	1	6		2		1				
渋谷区	2			2						
中野区		1								
杉並				3						
池袋				2						
北区										
荒川区		1		1						
板橋区										
練馬区		5		1						
足立		1		1						
葛飾区	2			1					1	1
江戸川	2			1						
八王子市	1	1		4						
町田市										
西多摩										
南多摩										
多摩立川										
多摩府中	2	6		4		1				1
多摩小平		6							1	
島しょ										
東京都合計	20	29		25	1	2	1	1	2	2

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2018年24週 現在)

◆ 小児科定点

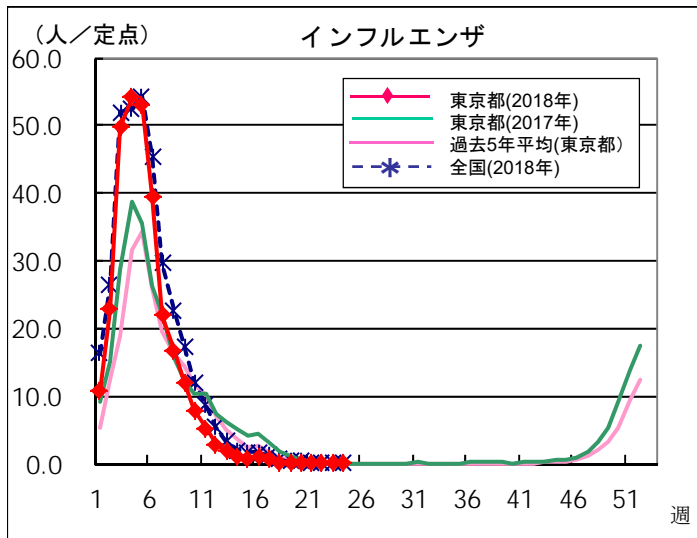




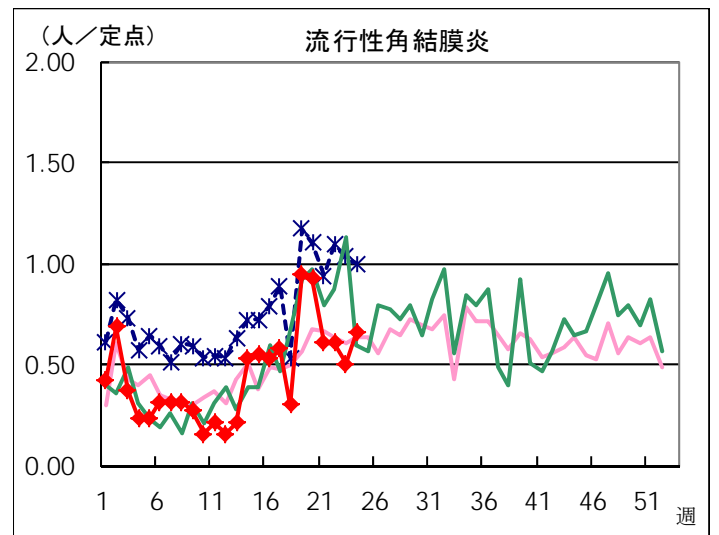
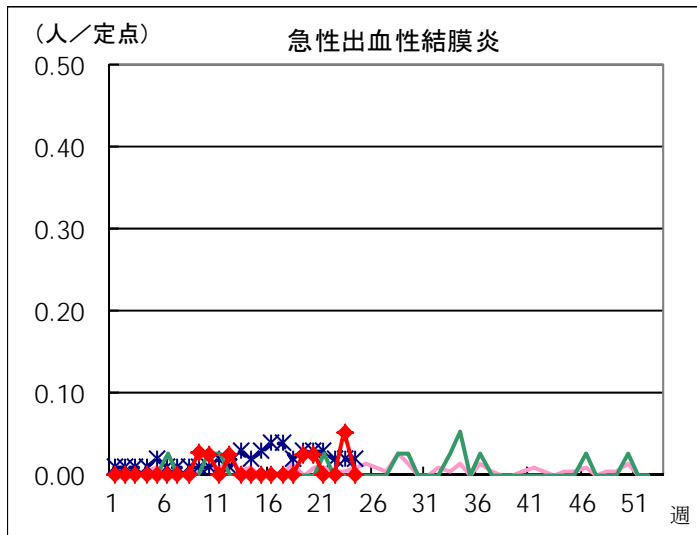
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

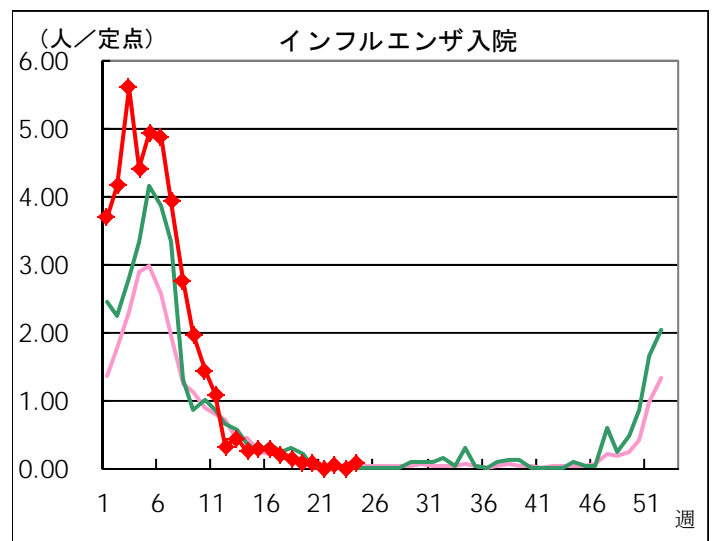
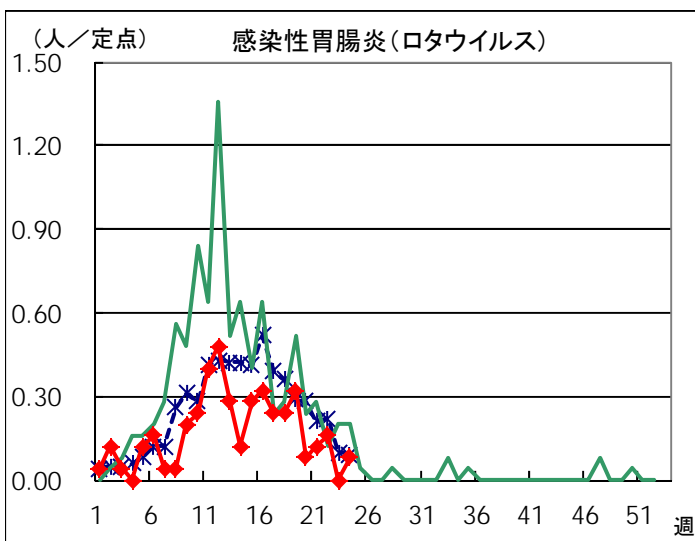
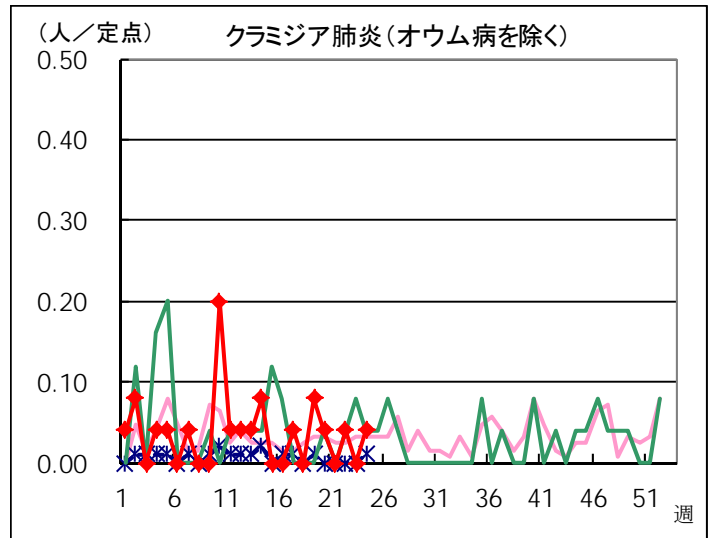
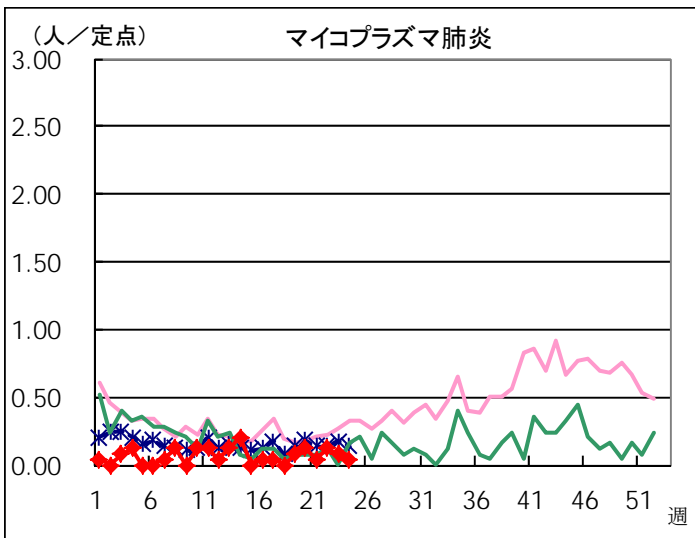
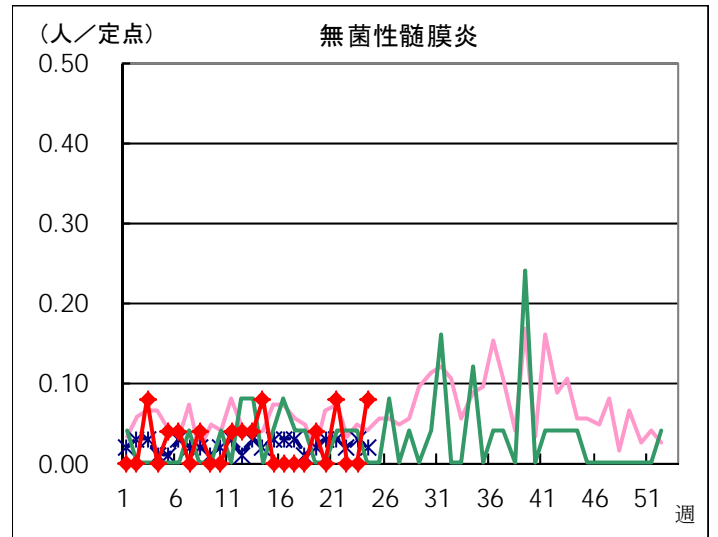
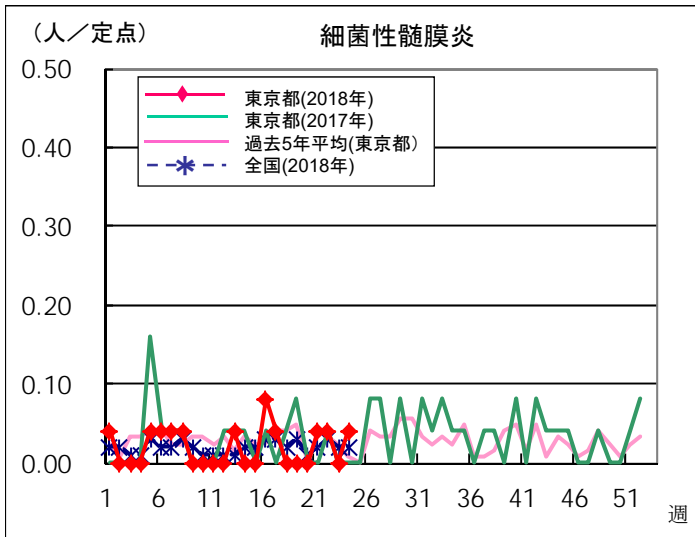
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
5/26	伝染性紅斑	12	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
5/26	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型
5/29	伝染性紅斑	5	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2018年22週	1			
2017-2018年 シーズン累計*	111		187	254

* 2017-2018年シーズンの開始は第36週(2017年9月4日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2018年							
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
アデノウイルス		1	1		3	2	1	
コクサッキーウイルスA群								
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス		1	2	1	2	1	1	
ヒトメタニューモウイルス			1					
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス					2		1	
ヒトヘルペスウイルス6型・7型			1		1	1	2	1
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)		1						
ヒトパルボウイルスB19	1				1	1	3	2
RSウイルス		1	2					
ノロウイルス						1		
ロタウイルス	1	1	2		4		3	
サポウイルス							2	
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	7	4	1		2	3	1	
インフルエンザウイルスB型								
インフルエンザウイルスAH1pdm09		2	1					1
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型	2		1			2		
A群溶血性レンサ球菌T-3型	1							
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1			1		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			2			3		
A群溶血性レンサ球菌T-25型		1	1					
A群溶血性レンサ球菌T-28型	1	1				2		
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型	1	1	1			1		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			1	1				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能					1	2		
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報 【臨床診断名別】

2018年15週～2018年22週

	R	咽	A	感	水	手	伝	突	ヘル	流	川	不	イ	イ	急	流	細	無	マ	ク
	5	7	29	21	5	3	10	9	3	9		22	21	13		1		3		
搬入検体数	5	7	29	21	5	3	10	9	3	9		22	21	13		1		3		
アデノウイルス		4		2									1			1				
コクサッキーウイルスA群																				
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス																				
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス																				
ライノウイルス						1	1					3		3						
ヒトメタニューモウイルス	1																			
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・带状疱疹しんウイルス					3															
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								4				2								
EBウイルス																				
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)																				
風しんウイルス																				
風しん1a型(ワクチンタイプ)												1								
ヒトパルボウイルスB19							6					2								
RSウイルス	3																			
ノロウイルス				1																
ロタウイルス				11																
サボウイルス				2																
インフルエンザウイルスAH1亜型																				
インフルエンザウイルスAH3亜型													18							
インフルエンザウイルスB型																				
インフルエンザウイルスAH1pdm09													3	1						
その他のウイルス																				
A群溶血性レンサ球菌T-1型			5																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型			5																	
A群溶血性レンサ球菌T-25型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-28型			4																	
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			4																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			3																	
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

<感染症豆知識>

夏の食中毒

— 細菌性食中毒の変遷 —

夏は高温多湿な状況が続き細菌性の食中毒に注意しなければならない季節である。平成29年に全国で発生した細菌性の食中毒は449件であり、月別の発生状況をみると、9月が71件と最も多く、次いで8月が63件と2番目に多かった。この結果からも夏に細菌性の食中毒が多く発生していることがわかる。

しかし、その原因となる細菌は過去と現在では大きく様変わりしている。20年前の平成9年の国の統計をみると、細菌性の食中毒は1630件発生しており、腸炎ビブリオが第1位で568件、サルモネラ属菌が第2位で521件、カンピロバクターが第3位で257件となっている。

一方、平成29年の統計では腸炎ビブリオは7件、サルモネラ属菌は35件、カンピロバクターは320件となっており、腸炎ビブリオとサルモネラ属菌による食中毒が激減していることがわかる。

当時、腸炎ビブリオ食中毒は適切な温度管理がされなかった魚介類の生食により多発していた。その後、生食用鮮魚介類には10℃以下で保存しなければならない基準等が作られ、減少したと言われている。

また、サルモネラ属菌食中毒は鶏卵の生食を原因として多発していた。その後、鶏へのワクチン接種や鶏卵の期限表示の義務化などが功を奏し、こちらも減少したと言われている。

残りはカンピロバクター食中毒である。国の発表では、平成29年に発生したカンピロバクター食中毒の約9割の事例で、生または加熱不十分な鶏肉の関与が疑われていることが報告されている。

都としても生または加熱不十分な鶏肉の提供や喫食を控えるよう、飲食店への監視指導や都民への普及啓発を実施している。ぜひ数年後には、カンピロバクター食中毒も激減した状況となってもらいたい。

(文責 東京都福祉保健局健康安全部食品危機管理担当課長 稲見成之)